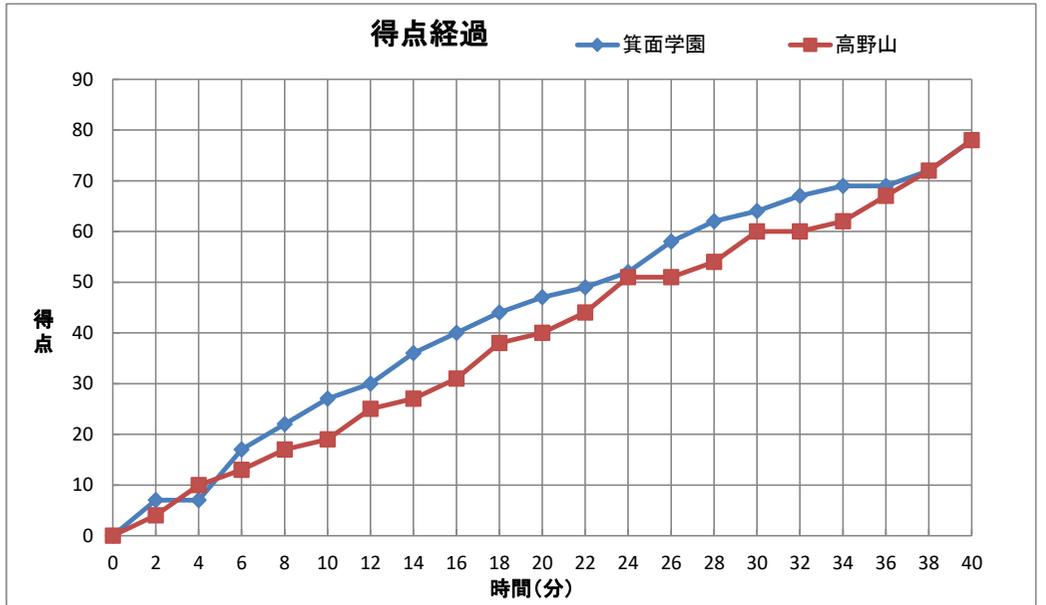




第36回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

男子		令和8年2月14日		15:50 開始																
2回戦		グリーンアリーナ神戸		B																
箕面学園	96	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>27</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>17</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>18</td></tr> <tr><td>18</td><td>OT</td><td>23</td></tr> </table>	27	1st	19	20	2nd	21	17	3rd	20	14	4th	18	18	OT	23	101	◎ 高野山	
27	1st	19																		
20	2nd	21																		
17	3rd	20																		
14	4th	18																		
18	OT	23																		
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則							
* 0	眞弓 悠生	39	2	13	7	3	4	知念 栄斗	0	0	0	0	0							
1	掛 虹翔	10	2	0	4	2	* 5	東川 泰山	6	0	3	0	1							
8	瀧村 颯太	-	-	-	-	-	* 6	木ノ下 七海	42	0	20	2	5							
11	桐島 駿弥	-	-	-	-	-	7	西端 来八駒	11	3	1	0	5							
13	福山 蓮明	-	-	-	-	-	* 8	川口 椋生	16	1	5	3	2							
14	渡口 怜海	-	-	-	-	-	* 9	東川 峻丈	7	0	3	1	5							
16	中西 琥鉄	0	0	0	0	5	* 10	山本 陽太	8	1	2	1	5							
* 17	山内 涼太郎	29	7	2	4	4	11	大西 連斗	9	0	2	5	3							
* 30	香川 智輝	3	1	0	0	1	12	瀬川 真生	2	0	0	2	1							
36	中瀬 海楼	-	-	-	-	-	13	新海 輝昂	-	-	-	-	-							
* 37	廣田 直哉	3	0	0	3	0	14	中谷 樹利	-	-	-	-	-							
39	佐賀 大翔	-	-	-	-	-	15	花木 成悟	-	-	-	-	-							
* 45	猪飼 陽斗	10	1	2	3	3	16	宮田 琥大郎	-	-	-	-	-							
55	木村 悠聖	2	0	1	0	0	17	堀井 惇玄	-	-	-	-	-							
88	太田 流夢	-	-	-	-	-	18	酒井 快	-	-	-	-	-							
コーチ	今野 翔太						コーチ	和中 裕輔												
Aコーチ	安藤 幹太						Aコーチ	谷本 浩一												
合計		96	13	18	21	18	合計		101	5	36	14	27							
クルーチーフ: 嶋田 博昭						1stアンパイア: 宮川 直明														
						2stアンパイア: 貝崎 壘斗														



TO	1・2Q		3・4Q			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	28:46	38:11	39:55	:	49:16	:	:
TeamB	13:22	:	26:24	39:32	39:48	44:46	:	:	:

【第1Q】高野山はマンツーマンディフェンス、箕面は1-3-1のゾーンディフェンスで開始。高野山は#6オイエジビのゴール下、箕面は#0眞弓のドライブなどで得点を重ねる。残り7分、高野山は2-3ゾーンに変化させるが、箕面は#0の1on1や#17山内の2本の3Pシュートと速攻で、残り3分で13-19とリードを奪う。高野山は#6がこのクォーター17得点を挙げるが、箕面はチームで5本の3Pシュートを決め、箕面が19-27とリードする。

【第2Q】高野山は#6をベンチに下げてマンツーマンディフェンスに戻す。攻撃にリズムが出て、残り7分、#7西端の3Pシュートで25-29と追い上げる。しかし箕面は#0の1on1、#17の3Pシュートで反撃し、残り6分で高野山がタイムアウト。やがて高野山#6がゲームに復帰するとゴール下で得点を量産し、残り3分、#11大西のミドルシュートで38-40と2点差に詰める。その後は箕面#1掛が3Pシュートを決め、40-47箕面リードで前半を終える。

【第3Q】高野山は2-2-1ゾーンプレスから2-3ゾーンでディフェンスのプレッシャーを強めると、#6のパスに#5東川(泰)が合わせて箕面のゾーンディフェンスを崩していく。残り6分、高野山#8川口が速攻を決め、49-49の同点とする。しかし、箕面は#17や#45猪飼が3Pシュートを決め、残り3分、51-61と再び箕面がリードし、高野山はたまたまタイムアウト。その後は箕面の得点が停滞する間に高野山#6がゴール下を3本決め、60-64と箕面リードで最終クォーターへ。

【第4Q】箕面は#0が3Pシュートや1on1でリードを広げるが、高野山は#9東川(峻)がゴール下で得点を重ねて追撃する。残り4分、高野山#10山本が2本のミドルシュートを決めて69-69の同点とする。箕面#1が3Pシュートを決めると高野山#7も決め返す。高野山#6がドライブとゴール下で得点して高野山が逆転するが、箕面は#0がドライブと速攻を決めて残り28秒で76-77と再逆転。残り12秒で2点ビハインドを追う高野山は、スローインから残り5秒で#6がゴール下を決めて78-78とし、延長戦に突入する。

【第1延長】高野山の#6と#8がゴールを決めて先行する。箕面#0が3Pシュートを決めると、高野山#10も決め返す。残り2分、ゴール下で存在感を示していた高野山#6がファウルアウトする。箕面は勢いづき、#17と#1の速攻で残り14秒で88-89と逆転する。残り3秒、フリースローを決められた上にタイムアウトも残っていない高野山だったが、ロングパスを受けた#8が速攻を決め、土壇場で高野山が追いつき、90-90の同点で再延長へ。

【第2延長】高野山の攻撃が停滞し、#45のドライブや#37廣田のフリースローで、残り3分、箕面が90-96とリードする。残り2分、高野山#8が3Pシュートを決め、#11と#8がきっちり2本ずつのフリースローを決め、97-96と逆転する。箕面はタイムアウトを取って立て直しを図るが追加点が奪えず、101-96で高野山がダブルオーバータイムの大激戦を制した。

戦評: 末吉 明夫

記録: 県立明石高等学校